

神戸商店グループ国際環境マネジメントシステムISO14001を取得 より高い自主管理基準を定め、より安全より効率的リサイクル活動を推進

神戸商店グループ（株式会社神戸商店＝神戸嘉信社長、神戸純専務。東京都千代田区鍛冶町1-6-15共同ビル。三郷営業所＝埼玉県三郷市高洲1-72-2。株式会社ジェー・キュリアス＝神戸純社長。東京都葛飾区東金町1-38-6 N02 UbAnobビル）は、昨年11月13日、環境マネジメントシステム「ISO14001」認定を取得。「ISO14001」は、地球規模の環境問題に対し組織が積極的に環境を管理するために生まれた国際規格で、AJA（Anglo Japanese American Registrars Ltd）による、もっとも権威のある国際的な審査登録機関の認定となっている。同認定登録は、日本企業ではTOYOTA、松下電気産業など大手企業を始め中堅、中小企業で実績があるが、UCオイル回収業界での環境管理「ISO」シリーズ認定取得は植田油脂株式会社（植田良次社長）に次いで2件目。神戸商店グループは「より効率的なりサイクル活動に努めたい」と新しい目標を掲げている。

神戸商店グループは創業時（神戸商店1966年、ジェー・キュリアス1988年）より食用廃油（UCオイル）の回収・処理、リサイクルのサービスを一環して推進している。同グループが環境マネジメント（経営管理）の国際規格「ISO14001」取得に至る努力の背景には、環境・リサイクルの法的整備と施行があり、それに対応する同グループの理念がある。

環境・リサイクルとしては、廃棄物処理法（1970年、改正1997年）水質汚濁防止法（1970年）、再生資源利用促進法（1991年）、環境基本法（1993年）の制定。とくに環境基本法の基本理念「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築」が「地球にやさしい」環境への配慮を高め、さらに2001年には、食品リサイクル法「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」が施行され、「発生の抑制」「再生利用（リサイクル）」「減量」が食品産業に義務付けられた。廃食油は「河川や下水道に流せば環境汚染。リサイクルすれば飼料用や工業用、石炭などに幅広く利用される有効資源」という、その言葉どりの大切な国内産資源である。

廃食油事業がリサイクル産業として重要性を増していくなかで、BSE発生に伴うBSE防止対策で、「動物性油脂及び動物性油脂を原料とする飼料の成分規格」（2002年2月農水省令）、「飼料安全法」（2002年7月改正施行）、「動物性油脂および動物性油脂を原料とする飼料用油脂の取扱について」（2003年3月、農水省生産局長通達）など、リサイクルにおける安心安全性の実現が、相次いで法的施行や省令による規制で強化された。

「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築」（環境基本法）に貢献する事業は、環境問題の認識なしには活動できないし、安心・安全の認識がなくてはリサイクル事業の活発な展開はできない。

環境管理システムに関する「ISO14001」取得のメリットは、神戸商店グループが展開する環境・リサイクル事業への信頼性である。

UCオイル回収事業は環境・リサイクル・サービスなどの付加価値化事業 ジェー・キュリアス、ディリーヤマザキ全国店舗の廃食油リサイクル管理

ジェー・キュリアス社長の神戸純氏は、廃食油回収事業の事業イメージについて「付加価値化事業」と表現する。「UCオイル回収事業は装置産業ではなく、

神戸商店グループ



神戸商店グループの、国際環境マネジメントシステム「ISO14001」認定を発表する神戸純社長。

く、外食産業、事業給食、惣菜屋さん、家庭から発生するパイの大きいリサイクル事業。事業メリットは付加価値化」と指摘。まず環境対策でリサイクルという付加価値化（東京都は今も「下水道に油を流さないで」シリーズ・キャンペーンを展開している）。品質の付加価値化は、食用油脂はJAS格付けによる品質信頼性の上に廃食油リサイクルで、塗料・印刷インク・脂肪酸など各用途向けにグレードアップ（天素価による）。飼料用油脂では「不溶性不純物0.15%以下」の安全基準の達成。サービスの付加価値化は実に多様。サービスの向上の中には、迅速・低料金で定期回収があり、外食サイドのニーズに対応してサービスもバラエティ化する。

ジェー・キュリアスは、事業の店舗管理業務で外食ユーザーと廃食油の管理サービス部門の委託契約をしているが、とくに注目されているのが全国に2000店舗を展開しているディリーヤマザキの全店舗の廃食油マニフェスト管理および店舗管理。まず、リサイクルがスタートする回収段階から「廃食油リサイクルマニュアル」で徹底指導。管理で注目されるのが、マニフェストの管理・請求書管理のスピード化。外食産業店経理部門では、正確な日常集計が必要だが、広範囲で回収する回収業者は時間的、労務的制約もあって、顧客（ユーザー）の管理業務に適應できないことが多い。ジェー・キュリアスは、こうした業務管理システムを構築化、サービスの付加価値化を進めている。

ディリーヤマザキが展開する廃食油をリサイクルする店舗廃食油管理は同社松戸エリアで2年間テストした後、全国2000店舗で実施されている。各店舗の廃食油回収は神戸商店、関東リサイクル油脂事業協組員、全国油脂事業協組連合会会員などの協力で進められ、神戸商店グループは、環境マネジメント「ISO14001」に定めた環境方針に基づき、より高い水準の自主管理基準を定め、より安全・より効率的なりサイクル活動を進めている。